

子どもの健全育成を図る活動

子ども育成

1 法人紹介～概要～

平成21年11月に設立し、学童及び保護者や地域の方々に対し、学童の年齢に応じた教育手段の実践とその環境整備に関する事業を行い、地域に根ざした子育て支援に寄与することを目的として活動しています。主な事業は子育て支援、教育環境支援、エコ教育支援、不登校・いじめ対策、キャリアプラン育成です。

2 K・I・D・Sとは

K「こどもたち」の K「教育環境整備」
I「居場所創り」や I「育成相談・方法」の
D「Dream(夢)」の実現を D「Directory」
S「Support」します S「Service」

アピール ポイント

各地域における地元の子どもたちへの総合支援を愛媛大学や行政との連携をもって取り組んでまいります。

3 キッズタクティール



タクティールとは、スウェーデンで効果が見られはじめたケアマッサージを応用とした手法であり、皮膚と皮膚とを通じ合わせて行うコミュニケーションをいいます。それを子どもが楽しんでできるように開発されたものがキッズタクティールです。幼児期におけるスキンシップは心の安らぎを得て、相手を思う気持ちを養います。マッサージは子ども同士ペアで行い、施術した方が相手に「ありがとう」と感謝を述べます。この積み重ねが将来的には、いじめ予防対策になれば良いと考えています。

4 放課後子ども教室の支援



各小学校で実施されている(未実施もあり)「放課後子ども教室(文部科学省管轄)」ですが、実施内容は地域間で異なります。どの地域にいても同一のカリキュラムが受けられるよう、教科学習にこだわらない課外授業で、かつ基礎能力を小学校の間から少しでも高められるよう「アフタースクール事業フォロー」を企画立案しています。なるべく良質で利用者の負担が少ない方法を目下検討中です。また、愛媛大学教育学部の協力を得て、放課後時間の有効活用を図っていきたいと考えています。ご協力よろしくお願い致します。

法人データ

代表者	小松 正幸 (こまつ まさゆき)
設立日	平成21年11月5日
理事数	5人
会員数	10人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	kids-ehime.npo@eco.ocn.ne.jp

平成20年度決算状況

※平成21年設立のため無し (単位: 千円)

<経常収入>	-
・会費	-
・補助金	-
・寄付金	-
・事業収入	-
・その他収入	-
<経常支出>	-
・事業費	-
・事業費	-
・その他支出	-
<経常収支>	-

1 法人紹介～概要～

VYS (Voluntary Youth Social worker) 運動は愛媛県ではじまり全国へ広がっていった活動で、社会の福祉と子どもの幸福のため「友愛」「奉仕」「理想」の綱領を掲げる、青少年のボランティア運動です。平成17年5月に設立し、21世紀を担う子どもたちのためのボランティア活動を進めています。

2 VYS



昭和27年に活動が始まった当初、日本ではまだ、ボランティアという言葉も珍しい時代でした。

アピール
ポイント

「子どもはくにの宝」

運動の提唱を行い、子どもの基本的人権を尊重します。

3 VYS育成支援



NPO法人 VYSは、VYS活動に参加したい人の育成や、地域のVYSを育てる活動をしています。そのあ

らわれとして、川之石高校VYS部が、長年にわたるVYS活動を認められ、平成19年度に厚生労働大臣表彰を受けました。また、平成20年度には、新居浜工業高校VYS部がボランティア・スピリット賞を受賞しました。このようにVYSの活動が継続していけるよう、これからも法人として支援していきます。

4 他の活動は…

福祉の推進を図る活動として、平成20年3月に松山市内の救護施設丸山荘へ軽自動車の贈呈を行いました。岐阜県のVYSの会員からの寄贈によるもので、移動用にとっても喜ばれています。平成22年2月には第53回VYS大会が開催され、大会式典の後、午後からは子育て支援ブースを開き県下のVYSによりチャレンジゲーム・クラフト作りなど、遊ぶをテーマに親子で楽しめるイベントが行われました。



法人データ

代表者	大財 次徳 (おおざい つくのり)
設立日	平成17年5月20日
理事数	8人
会員数	48人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	npovys@yahoo.co.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	320
・会費	170
・補助金	0
・寄付金	150
・事業収入	0
・その他収入	0
<経常支出>	331
・VYS関連事業費	87
・NPOとの協働推進関連事業費	58
・その他支出	186
<経常収支>	▲11

1 法人紹介～概要～

子どもが自らチャレンジする機会が減っているのではないかと考えたメンバーが、子どもにチャレンジする機会を提供する場をつくろう!ということで平成18年10月に設立し、子どもたちが自ら企画、実行する活動を大人がサポートする形で活動を行っています。

2 お話を伺った方



無人島体験に来た子どもたちが、集合したときには見せなかった笑顔が体験後には素晴らしい笑顔になりますよ。
(事務局長: 仙波 英徳さん)

アピール ポイント

3つのシヨク「職・食・触」をテーマに自分たちで考えて活動します。

3 主催事業/みんなでチャレンジ みんなのチャレンジ

「みんなでチャレンジ みんなのチャレンジ」という名前で子どもが企画して実行する活動を松山市と八幡浜市でしています。子どもは1チーム6



人、3チーム20人ぐらいを募集しています。活動期間は夏休みから3ヶ月くらいで行いますが、子どもがチャレンジしたい内容によっては、さらに活動が続く場合もあります。活動を続ける過程で人間関係が深まり、同時に一人一人の自信がふくらみ、精神的にも大きく成長するように思います。



4 支援事業



無人島体験活動—御五神島にて—

チャレンジする子どもを支援する大人を増やすために大人のネットワークを広げようと事業を行っています。大洲での1泊2日で行われた「地域教育実践交流集会」には約200名の方が参加して、「わたしたち みんな 子どもで つながっている」をテーマに実践発表や分科会が開かれました。子どもたちの活動が一つ一つの単体ではなく、横の繋がりをもってよりよい活動に広がるために、大人たちもサポートするための努力を行っています。

法人データ

代表者	村上 伸二 (むらかみ しんじ)
設立日	平成18年10月30日
理事数	19人
会員数	83人 (平成21年10月現在)
URL	http://island.geocities.jp/kodomochallenge/
E-mail	kouma@d6.dion.ne.jp

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位: 千円)
<経常収入>	9,287
・会費	572
・補助金	7,590
・寄付金	340
・事業収入	513
・その他収入	272
<経常支出>	8,517
・みんなのチャレンジみんなでチャレンジ事業費	387
・支援事業「無人島チャレンジ」事業費	500
・その他支出	7,630
<経常収支>	770

1 法人紹介～概要～

平成15年4月に設立し、今治市の住民及びボランティア活動に取り組む団体に対し、保健・福祉・国際交流・男女共同参画・子どもの健全育成に関する事業及び特定非営利活動を行う他の団体の運営又は活動に係る連絡、協力に係る事業を行い、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的としています。

2 みんなおいでよ

アピール ポイント



ハルモニア広場は、大人も子どもも楽しい気持ちになれる場所です。作業所ぱたぱたへは、広場正面右側よりお入りいただけます。

誰もがほっとできる場所です。お気軽にお越し下さい。

3 ハルモニア広場



ハルモニア広場は、今治市より委託を受けて運営しています。妊婦さんから子育て中の親子（主に0～3才までの乳幼児が対象）まで、どなたでも気軽に遊びにきて頂ける子育て応援スペースです。毎月各種イベントを開催、鳥しょ部から遊びに来る親子もいて、誰もがほっとできる場所です。地元からの応援も熱く、本当の子育て支援とは何かを日々追及中です。

◎今治市恵美須町1丁目4番8号

◎TEL・FAX(0898)24-2370

◎時間/10:00～16:00

◎休日/年末年始、日・祝日 ◎利用料/無料

4 作業所ぱたぱた



ハルモニア広場右側の階段を上ると、「地域活動支援センターぱたぱた」があります。平成21年4月より知的障害・身体障害および精神障害者の地域

活動支援センターとして開所しました。作業所では無塩バターをたっぷり使ったコクと風味あるパウンドケーキを製造・販売をしています。他には、一本の糸から織り上げる「さをり織り」で作品を作り、トートバッグ等を作製・販売を行っています。少人数ではありますが、良質なもののづくりのために毎日頑張っています。

◎今治市恵美須町1丁目4番6号

◎TEL・FAX (0898)32-2044

法人データ

代表者	岡本 孝 (おかもと たかし)
設立日	平成15年4月15日
理事数	5人
会員数	43人 (平成21年10月現在)
URL	-
E-mail	-

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位:千円)
<経常収入>	6,264
・会費	63
・補助金	6,102
・寄付金	0
・事業収入	98
・その他収入	1
<経常支出>	6,273
・ハルモニア広場運営事業費	6,273
・その他支出	0
<経常収支>	▲9

1 法人紹介～概要～

平成21年設立。法人化される5年前から子育てのサークル活動を続けていました。行政の協力を得ながら、砥部町を中心とした企業、店舗、地域の方々に賛同して頂き、とべ子育てつどいの広場の運営という様々なイベントを開催。託児やベビー用品レンタルなど、子育て支援の事業を行っています

2 スタッフ



子育て現役のお母さん達でもあります。個性や得意なことを生かして、お母さん達も活躍中です!

◀ぽっかぽかスタッフの皆さん

アピール ポイント

地域とのつながりと異世代

学生やお年寄りとの交流を大切にしながら、親子で集まれる場所、子供たちとお母さんが楽しめ、ほっとできる場所を目指しています。子供たちは地域の宝として、たくさんの人に見守られながら大きくなってほしいな。

3 お誕生日会



とべ子育てつどいの広場 「ぽっかぽか」

砥部には子育て支援センターもなく、親子が自由に集える場所がありません。「いつでも自由に遊べる場所が

ほしい」という声に答えて開設しました。いつ来ていつ帰ってもOKで、常時スタッフがいるので安心です。子育て真っ最中のお母さんたちの子育ての情報交換や地域との交流の場所になればいいなと思います。

◎砥部町中央公民館4階

◎月、水、木曜日の10:00～15:00

4 つどいの広場

地域と共に子育て支援

砥部町公民館を拠点としてイベントを行っています。5月に「ぽっかぽかまつり」8月に「ぽっかぽかふれあいイベント」12月に「クリスマスつどい」を開催しています。町内の企業や店舗に活動ポスターの掲載やチラシの配布の協力をいただいています。イベントの活動では地域のサークル団体や学生（砥部中学生）が活躍。お年寄りの方達の協力も頂いています。



法人データ

代表者	村上 明子 (むらかみ あきこ)
設立日	平成21年2月23日
理事数	7人
会員数	369人 (平成21年10月現在)
URL	http://pokkapoka.net/index.php
E-mail	tobe-pokkapoka@w9.dion.ne.jp

平成20年度決算状況

※平成21年度設立のため無し (単位: 千円)

<経常収入>	-
・会費	-
・補助金	-
・寄付金	-
・事業収入	-
・その他収入	-
<経常支出>	-
・事業費	-
・事業費	-
・その他支出	-
<経常収支>	-

1 法人紹介～概要～

住みよい地域環境の実現と地域の活性化を踏まえたまちづくり活動として、平成19年8月に法人設立して以来、子育て中の親子からシニアまで地域住民への様々な支援に関する事業などを行っています。誰にとっても身近で、気軽にコミュニケーションがとれ、共に支えあい、豊かで安心して暮らすことのできる活力ある地域の形成に貢献することを目的に活動しています。

2 お話を伺った方

アピール ポイント



“にっこりーの”は、JR川之江駅すく、川之江栄町商店街の中ほどにあります。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

◀代表：高原 茂さん
スタッフのみなさん

主な活動拠点は、商店街内にある『四国中央ドットコム』です。1Fはシニア支援、2Fは子育て支援を中心としており、幅広い年齢層の方々が集うため、三世代交流も生まれています。市内のイベントにも積極的に参加し、地域を元気にする活動をしています。

3 地域子育て、支援拠点事業



0～3歳児をもつ子育て中の親子（妊婦さんも）を対象に、親子のくつろぎスペース「にここルーム」を運営しています。

子育て中は不安がいっぱいですが、スタッフに見守られながらお母さんたちがおしゃべりをしたり情報交換をしたりすることで、リラックス・リフレッシュできるよう手助けしています。親子が安心して遊べる場所が「にここルーム」です。様々な楽しいイベントもあり、毎日多数の親子が集まっています。

◎利用時間/月～土曜日（木曜日休館） ◎9:30～15:30

4 シニア支援事業



みんなの広場『四国中央ドットコム』1Fでは、紙バンド手芸サークルが小物やカゴ等を作っていたり、パソコンシニア倶楽部ではお互いにパソコンの使い方をお互いに教えあひながらブログで盛り上がったりと、様々な活動があります。また、ここで出会った方々が自主的に忘年会や日帰りツアーなどの企画を行うなど、元気なシニアの人たちによるサロンのようなスペースになっています。参加費は一回200円（コーヒー代）で、みなさん気軽に利用されています。お問い合わせ等は、みんなのひろば『四国中央ドットコム』0896-58-8726まで。

法人データ

代表者	高原 茂（たかはら しげる）
設立日	平成19年8月20日
理事数	4人
会員数	11人（平成21年10月現在）
URL	http://nikkori-no.jimdo.com/
E-mail	info@shikokuchuo.com

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	4,589
・会費	28
・補助金	4,371
・寄付金	0
・事業収入	190
・その他収入	0
<経常支出>	4,579
・親子つどいの広場提供事業費	4,357
・各種コミュニティ情報の発信事業費	72
・その他支出	150
<経常収支>	10

1 法人紹介～概要～

現在に坂本龍馬が生きていれば何を考え、何をなすだろうか、との具体的活動の検討に思いがわり、「平成の坂本龍馬」を愛媛の地より数多く誕生させたい!!という熱い想いから、愛媛龍馬の会を母体として、平成19年1月に設立しました。子供たちには夢と希望を持ち続けること、保護者には子供達と観る視線の転換の一助とすることを目指しています。子供達に灯りをともし、子供達の環境を整える活動をしています。

2 代表者



今後は、子供たちに外国語や童謡唱歌・「やまとことば」のよくな、昔から日本に伝わる美しい日本の言葉を伝えていきたい!!

◀代表理事：大野 一郎さん

～坂本龍馬の精神～

「考えるより、まず行動!!」

ひとつの物事にとらわれず、常に前を見て考えるために立ち止まるのではなく、考えるときも常に歩きながら考える。

アピール
ポイント

3 主な活動



こども書道教室…書道を通して、伝統文化の伝承と習熟及び礼儀作法の指導を行っています。現在、2カ所で書道教室を開いています。詳しい内容についてはお電話でご確認ください。講演会…教育的観点・道徳的観点から見る「坂本龍馬講演会」を行っています。「坂本龍馬」の話を初めて聞く子供達からは、「坂本龍馬のようになりたい。」という感想をもらうことも度々あります。子供達が「坂本龍馬」に興味を持ってくれることが嬉しいです。

講演会…教育的観点・道徳的観点から見る「坂本龍馬講演会」を行っています。「坂本龍馬」の話を初めて聞く子供達からは、「坂本龍馬のようになりたい。」という感想をもらうことも度々あります。子供達が「坂本龍馬」に興味を持ってくれることが嬉しいです。

4 声かけ実践

*子育てに悩むご両親にも相談に来て欲しい!

- ◎子供達に情熱を ◎大人は子供に声かけを
- ◎子供達に夢は大きく ◎子供の言葉を大切に
- ◎子供達の目に輝きを ◎子供を信じられる親になろう
- ◎子供達の感性を高めて ◎子供の心から目を離さず
- ◎子供達の環境の確保
- ◎家庭教育に責任持てる親になろう
- ◎エネルギーがわき出す家庭の建設を



法人データ

代表者	大野 一郎 (おおの いちろう)
設立日	平成19年1月31日
理事数	7人
会員数	44人 (平成21年10月現在)
URL	http://www.ryohma.com
E-mail	sakamoto@ryoma.com

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	893
・会費	348
・補助金	0
・寄付金	115
・事業収入	293
・その他収入	137
<経常支出>	2,270
・地域社会交流事業費	254
・関係団体交流事業費	407
・その他支出	1,609
<経常収支>	▲1,377

1 法人紹介～概要～

平成7年4月に発足、日本初のバスケットボールアカデミーとして開校し、平成16年8月にNPO法人を設立しました。小学生から高校生向けのバスケット指導をはじめ、多種目スポーツプログラムの運営やアメリカにあるバスケットボールクラブ、車椅子バスケットボールクラブとの交流、社会奉仕など幅広く行っています。

2 お話を伺った方

アピール ポイント



バスケットで勝つことだけが目的ではなく、バスケットを通じて人としての基礎を育成します。

◀事務局長：山口 親美さん
スタッフ：薬師寺 瞳さん

小さいうちからたくさんのスポーツを体験できます。(バスケットボール専門コースもあり)スポーツを通して、心と技の基礎基本を学びます。

3 レジェンドカップ



平成22年2・3月に「2010レジェンドカップ」を開催しました。平成8年より「小学生近県親善ミニバスケットボール大会」としてスタートした大会

ですが、今回で15回目を数えました。愛媛県の近隣から小学生のバスケットボールチームが集まり、試合を含め各種イベントや選手同士の交流を行います。設立以来、1000人を超える卒業生を輩出してきたレジェンド松山。実業団バスケットボールチームでプレイする卒業生もいます。大会には、その先輩方からの大会応援メッセージが届きます。

4 車椅子バスケット



愛媛車椅子バスケットボールクラブの皆さんと交流をしています。車椅子に乗ってパス、ドリブル、シュートの練習をし、車椅子を使つての鬼ごっこやリレーをします。慣れない車椅子でのバスケットボールに、レジェンド松山の子供たちは苦戦しますが、それもつかの間で自在に乗りこなせるようになりました。レジェンド松山ではバスケットボール以外のスポーツ体験、海外遠征前には、異文化交流に関する講座なども行っています。

法人データ

代表者	大野 加壽子 (おおの かすこ)
設立日	平成16年8月5日
理事数	7人
会員数	94人 (平成21年10月現在)
URL	http://mylegend-matsuyama.com
E-mail	info@mylegend-matsuyama.com

平成20年度決算状況

(H.20.4.1～H.21.3.31)	(単位：千円)
<経常収入>	11,738
・会費	188
・補助金	2,265
・寄付金	1,005
・事業収入	8,004
・その他収入	276
<経常支出>	11,593
・ディスカバリークラブ事業費	1,741
・レジェンドカップ事業費	1,143
・その他支出	8,709
<経常収支>	145

